



受発注取引促進のための4道県合同商談会を開催

7月21日、TRC東京流通センター(東京都大田区)を会場に、179社/267名のものづくり企業が参加し、「青森・秋田・岩手・北海道合同商談会2022」を開催した。この商談会は、取引拡大に取り組む4道県の受注企業の支援のため、発注企業と面談しながら自社製品・技術等をアピールする場を提供し、各企業の取引成約を目指すものである。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年度、一昨年度ともに対面開催ができず、参加企業間での情報提供等を行ったのみであった。開催事務局でも、今年度は企業同士の顔が見える商談により多くの成約となることを期待して準備を進め、無事開催に至った。

コロナの反動や原油高騰、半導体不足など様々な情勢がある中、発注企業は関東圏以外に関西や中部地方からの参加もあり、各企業は納期短縮や確実な受注を模索しているため、本商談会のニーズが非常に高いのが伺える。

今回の本商談会における参加企業/参加者数は、発注企業62社/94名、受注企業117社/173名で、総面談数は500以上となった。

■参加者数

発注企業	62社	94名
受注企業	117社	173名
青森県	13社	18名
秋田県	35社	54名
岩手県	38社	51名
北海道	31社	50名
計	179社	267名



本商談会は受注または発注側の「指名面談」と「フリー面談」で構成されており、各企業は事前情報のもと、希望のあった企業に対して、図面やサンプル品を見せ合いながら熱のこもった商談を繰り広げていた。「指名面談」でやむなく希望が通らなかった場合の企業も「フリー面談」で面談時間を作り、まずは相手とのきっかけづくりに繋げようと、積極的に動く姿勢が見て取れた。

当センターでは、今年10月に秋田市で「令和4年度あきたモノづくり商談会」の対面開催を予定するなど、これら販路開拓に関するイベントを通してものづくり企業のマッチングを図り、受発注情報を県内企業に展開することで、更なる取引の発展を促していく。